

外国語版「木簡字典」公開のお知らせ

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、2005年2月の公開以来、2011年12月のリニューアルを経て、広く皆さまにご利用頂いております。木簡画像データベース「木簡字典」について、海外を含めてより多くのみなさまにご利用いただけるよう、「外国語版」を作成し、公開することになりました。御取材方、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

記

日 時：2014年3月28日（金）より公開

内 容：木簡画像データベース「木簡字典」韓国語・中国語・英語版を公開

既存の日本語版全ページの記述、検索ボタン、説明などを各国語に翻訳

検索画面、結果一覧画面、詳細情報画面、及び、ご利用方法・データベースの説明画面
(別紙、画面参照)

URL：韓国語版 <http://jiten-kr.nabunken.go.jp/index.html>

中国語版 <http://jiten-cn.nabunken.go.jp/index.html>

英語版 <http://jiten-en.nabunken.go.jp/index.html>

奈良文化財研究所ホームページ「データベース一覧」にリンクを貼ります。

※開発の背景と効果

- 日本語版への海外からのアクセス数は増加しているものの、利用時間・閲覧データ量は少なかった。
→使用言語による利用方法の周知の必要性から開発に着手。
- アクセス元は、東アジアの漢字文化圏、および、英語圏からも多数あった。
→翻訳言語を、韓国語・中国語・英語の3ヶ国語に設定。
- 日本の木簡について、世界各地で閲覧できる手段が増え、日本の歴史・文化の世界発信に寄与するとともに、今後の全世界的な出土文字資料研究の深化に資することが期待される。

※開発の経緯

- 前年度までの科学研究費補助金（下記参照）において、システムの開発と翻訳に着手、試験的運用を開始。今年度からの補助金において、ブラッシュアップをはかり、本格的運用に至る。
- 内容的な検討においては、翻訳データのネイティブチェックにとどまらず、各言語圏における日本の木簡情報の利用、及び、研究のあり方について、多くの助言を得ながら進めてきた。
協力：Walter Edwards（奈良文化財研究所）、朴亨彬（大韓民国文化財庁）、
Joshua Frydman（イェール大学）の各氏、ならびに方国花（奈良文化財研究所）による。

木簡画像データベース・木簡字典（日本語版）とは

- 木簡の文字を高精細画像で表示することに特化した画像データベース。
- 2005年に初公開、大幅な改良を経て、2007年に現在保有する基本機能を搭載、2011年リニューアル。
- 収録木簡数（表裏別）約11000点、文字画像数約67000点（2014年3月現在、毎月更新）
- アクセス数は、年間約22000件（2013年度）。このうち、海外からは、年間約1800件
- Web版の利点を活かし、様々な情報へリンクできるようにするなど、現在も改良・開発中。
- 開発に関わる日本学術振興会科学研究費補助金——基盤研究(S)研究代表者 渡辺晃宏
2003～2007年度「推論機能を有する木簡など出土文字資料の文字自動認識システムの開発」
2008～2012年度「木簡など出土文字資料積読支援システムの高次化と総合的研究拠点データベースの構築」
2013～2017年度（現在）「木簡など出土文字資料の資源化のための機能的情報集約と知の結集」

